

プログラム及び参加者紹介

プログラム

9月29日(水)

オープニング・セッション

- 09:30～09:40 開会挨拶
小林 誠一 防衛研究所所長
- 09:40～09:50 来賓挨拶
守屋 武昌 防衛事務次官
- 09:50～10:00 趣旨説明
林 吉永 防衛研究所戦史部長

第1セッション 「日露戦争と国際関係」

- 10:00～10:30 発表 「日露戦争と国際関係」
キース・ニールソン
カナダ王立国防大学歴史学部教授
- 10:30～11:00 発表 「日露戦争と日本外交」
伊藤 之雄 京都大学法学部教授
- 11:00～11:15 休憩
- 11:15～11:35 コメント
等松 春夫 玉川大学経営学部助教授
- 11:35～12:20 コメントへの回答、質疑応答
- 12:20～14:00 昼食、休憩

特別講演

- 14:00～14:45 「ロシアにおける日露戦争研究について」
ドミトリー・パヴロフ
モスクワ工科大学歴史・政治学部教授
- 14:45～15:00 休憩

第2セッション 「海戦」

- 15:00～15:30 発表 「日露戦争とドイツ帝国海軍」
ベルトホルド・ザンダー=ナガシマ
ドイツ軍事史研究所主任研究官

- 15:30～16:00 発表 「日露の海戦がアメリカ海軍に及ぼした影響」
高橋 文雄 航空自衛隊幹部学校教官
- 16:00～16:15 休憩
- 16:15～16:35 コメント
相澤 淳 防衛研究所戦史部主任研究官
- 16:35～17:20 コメントへの回答、質疑応答

9月30日(木)

第3セッション 「陸戦」

- 09:30～10:00 発表 「技術戦としての日露戦争 - 日本陸軍の技術革新への対応と火砲 - 」
横山 久幸 防衛大学校助教授
- 10:00～10:30 発表 「フランスから見た日露戦争」
立川 京一 防衛研究所戦史部主任研究官
- 10:30～10:45 休憩
- 10:45～11:05 コメント
黒沢 文貴 東京女子大学現代文化学部教授
- 11:05～11:50 コメントへの回答、質疑応答
- 11:50～13:15 昼食、休憩

第4セッション 「日露戦争と民族主義」

- 13:15～13:45 発表 「日露戦争が20世紀前半の日波関係に与えたインパクトについて」
エヴァ・ルトコフスカ
ワルシャワ大学日本・韓国研究学部教授
- 13:45～14:15 発表 「日露戦争と日土関係」
サルジユク・エセンベル
ボスポラス大学歴史学部教授
- 14:15～14:45 発表 「日露戦争と朝鮮」
李 盛煥 啓明大学校日本学科教授
- 14:45～15:00 休憩
- 15:00～15:20 コメント
稲葉 千晴 名城大学都市情報学部教授

15 : 20 ~ 16 : 05 コメントへの回答、質疑応答

議長総括

16 : 05 ~ 16 : 15 議長総括
林 吉永 防衛研究所戦史部長

16 : 15 ~ 16 : 20 閉会挨拶
鈴木 陽 防衛研究所副所長

参加者紹介

議長

林 吉永

現職：防衛庁防衛研究所戦史部長

略歴：防衛大学校卒業。航空幕僚監部総務課長、北部方面警戒管制団司令、第7航空団司令、航空自衛隊幹部候補生学校長等を歴任。1999年3月、退官。空将補。同年4月から現職。

司会

庄司 潤一郎

現職：防衛庁防衛研究所戦史部第一戦史研究室長

略歴：筑波大学卒業、同大学院修了（修士）。1986年、防衛研究所助手、その後、所員、主任研究官を経て、1999年4月から現職。

著書：『変動期の日本外交と軍事』（共著）、『大正期日本のアメリカ認識』（共著）ほか。

特別講演者

ドミトリー・パヴロフ（Dmitrii Borisovich Pavlov）

現職：モスクワ工科大学歴史・政治学部教授

略歴：モスクワ大学卒業、同大学院修了（博士）。ヘルシンキ大学、モスクワ教育大学客員教授などを歴任。日露関係国際プロジェクト・チーム、ロシア歴史アーカイブ編集委員なども歴任。専門は現代ロシア史、20世紀初頭のロシア謀報史、日露戦争史など。

著書：*Secrets of the Russo-Japanese War, 1904-1905*（共著）ほか。

発表者（発表順）

キース・ニールソン（Keith Neilson）

現職：カナダ王立国防大学歴史学部教授

略歴：アルバータ大学卒業、同大学院修了（修士）。ケンブリッジ大学大学院修了（博士）。専門は、近・現代イギリス外交史、英露関係史。

著書：*Britain and the Last Tsar: British Policy and Russia, 1894-1917* ほか。

伊藤 之雄

現職：京都大学法学部教授

略歴：京都大学卒業、同大学院修了（博士）。名古屋大学助教授などを歴任。ハーヴァード大学イェンチン研究所・同ライシャワー日本研究所で在外研究。京都市市政史編纂委員会代表。専門は近・現代日本政治外交史。

著書：『大正デモクラシーと政党政治』、『立憲国家と日露戦争 - 外交と内政 - 一八九八～一九〇五 - 』ほか。

ベルトホルド・ザンダー=ナガシマ (Berthold Sander-Nagashima)

現職：ドイツ軍事史研究所主任研究官

略歴：ドイツ連邦海軍参加後、ドイツ海軍士官学校を経て、ドイツ空軍大学で学位を取得。ハンブルグ大学大学院修了（博士）。専門はドイツ海軍史。

著書：*German-Japanese Naval Relations in World War II* ほか。

高橋 文雄

現職：航空自衛隊幹部学校教官（2等空佐）

略歴：防衛大学校卒業、上智大学大学院修了（修士）。航空幕僚監部、防衛研究所所員を歴任。

論文：「明治 40 年帝国国防方針制定期の地政学的戦略眼 - 日本海軍はオレンジ・プランの原型を読み解けたか - 」、「米西戦争期の勢力均衡外交 - スーラー群島へのドイツの関与を中心にして - 」ほか。

横山 久幸

現職：防衛大学校助教授（2等空佐）

略歴：防衛大学校卒業、桜美林大学大学院修了（修士）。航空自衛隊幹部学校戦略研究室、上智大学大学院研究生、防衛研究所所員を歴任。専門は軍事技術史、国防政策史。

論文：「日本陸軍の軍事技術戦略と軍備構想について - 第一次世界大戦後を中心として - 」、「日本陸軍におけるエア・パワーの発達とその限界 - 運用規範書を中心に - 」ほか。

立川 京一

現職：防衛庁防衛研究所戦史部主任研究官

略歴：上智大学卒業、同大学院修了（博士）。専門は、軍事史、国際関係史。

著書：『第二次世界大戦とフランス領インドシナ - 日仏協力の研究 - 』、
British and Japanese Military Leadership in the Far Eastern War, 1941-45（共編）ほか。

エヴァ・ルトコフスカ（Ewa Pałasz-Rutokowska）

現職：ワルシャワ大学日本・韓国研究学部教授

略歴：ワルシャワ大学大学院修了（修士）、東京大学大学院修了（博士）、東京大学客員教授、ワルシャワ大学異文化交流センター所長などを歴任。

著書：*Polityka Japonii wobec Polski, 1918-1941* (Japan's Policy towards Poland, 1918-1941) ほか。

サルジユク・エセンベル（Selçuk Esenbel）

現職：ボスポラス大学歴史学部教授

略歴：ジョージ・ワシントン大学卒業、ジョージタウン大学大学院修了（修士）、コロンビア大学大学院修了（博士）。アンカラ大学助教授、慶應義塾大学客員教授などを歴任。専門は近代日土関係。

著書：*Turning Points in Japanese History*（共著）ほか。

李 盛煥

現職：啓明大学校日本学科教授

略歴：嶺南大学卒業、筑波大学大学院修了（博士）。大韓政治学会編集委員長、韓国日本学会理事を歴任。

著書：『近代東アジアの政治力学』ほか。

コメンテーター（登壇順）

等松 春夫

現職：玉川大学経営学部助教授

略歴：筑波大学卒業、早稲田大学大学院修了（修士）、オクスフォード大学大学院修了（博士）。

著書： *War with Japan* (共著)、『日英交流史』(共著)ほか。

相澤 淳

現職：防衛庁防衛研究所戦史部主任研究官

略歴：防衛大学校卒業、上智大学大学院修了(博士)。専門は日本海軍史。

著書：『海軍の選択』、『日英交流史』(共著)ほか。

黒沢 文貴

現職：東京女子大学現代文化学部教授

略歴：上智大学卒業、同大学院博士課程単位取得退学。順天堂大学非常勤講師、宮内庁書陵部編修課主任研究官、慶應義塾大学非常勤講師などを歴任。法学博士。

著書：『大戦間期の日本陸軍』、『日本・ベルギー関係史』(共著)ほか。

稲葉 千晴

現職：名城大学都市情報学部教授

略歴：宇都宮大学卒業、早稲田大学大学院修了(修士)。早稲田中学・高等学校教諭、東洋英和女学院短大助教授などを歴任。

著書：『明石工作 - 謀略の日露戦争 - 』、『暴かれた開戦の真実：日露戦争』ほか。

日露戦争と世界 - 100 年後の視点から -

平成 16 年度戦争史研究国際フォーラム報告書

発行日 平成 17 年 3 月 31 日

編集・発行 防衛庁防衛研究所

〒153-8648

東京都目黒区中目黒 2-2-1

電話:03-5721-7005

FAX:03-3713-6149

E-mail:planning@nids.go.jp

ISBN 4-939034-24-0

© 無断転載を禁ず。